



ネオトレAPI for Excel 関数一覧

ワークシート関数 編

v1.1.1

変 更 履 歴

No.	日付	バージョン	内 容
1	2024/03/21	1.0.0	初版
2	2024/07/30	1.0.1	信用残高照会の建数量、建数量合計のVBA関数 パラメータ名を修正
3	2024/09/20	1.0.2	VBA関数一覧との切り離し
4	2024/12/23	1.0.3	為替ヒストリカルデータの取得本数を修正
5	2024/12/30	1.0.4	国内株式ランキングの取得件数を修正
6	2025/01/21	1.1.0	関数の入力例を追記
7	2025/03/15	1.1.1	注文条件に大引成、大引指、大引不成追加による更新

ネオトレAPI for Excel 用語集

No.	用語	ようご	用語の説明
1	引数	ひきすう	関数に入力として渡すデータ。関数が処理を行うための材料。
2	戻り値	もどりち	関数が処理結果として返すデータ。関数の処理結果を呼び出し元に提供する。
3	ワークシート関数	わーくしーとかんすう	Excelなどでデータの計算や分析、操作を行うための組み込み関数。
4	関数データ型 文字列	かんすうでーたがた もじれつ	セルにおける表示形式 " " (ダブルクォーテーション、引用符)で括る・括らないの仕分け。
5	文字列型 ①	もじれつがた いち	「 ” 」で括る必要がある。 例)引数に戻り値を指定する場合 "銘柄コード"
6	文字列型 ②	もじれつがた に	特定条件下 「 ” 」で括る必要がある。 例) 銘柄コードにアルファベット混入時 "130A"
7	文字列型 ③	もじれつがた さん	「 ” 」で括っても括らなくても機能する。
8	文字列型 ④	もじれつがた よん	「 ” 」で括ると機能しない。
9	関数データ型 数値型	かんすうでーたがた すうち	整数型や浮動小数点型を含む、数値計算やデータ処理のための数値を表現するデータ型。
10	関数データ型 真偽値型	かんすうでーたがた しんぎち	論理的な状態を表現するためのデータ型。主に「真(True)」または「偽(False)」の2つの値を持つ。
11	注文ID	ちゅうもんあいでいー	SBIネオトレード証券システムにおいて他ツールからの発注も含めた共通のユニーク番号。
12	建玉ID	たてぎよくあいでいー	SBIネオトレード証券システムにおいて信用建てしているポジションの共通のユニーク番号。
13	ネオトレAPI注文管理ID	ちゅうもんかんりあいでいー	ネオトレAPI for Excelから発注するときに識別するために利用者が任意で設定する整数。
14	ヘッダ行	へっだぎょう	列に表示させる項目名を自動的に表示させるさせないを引数で指示できる。
15	簡易入力ダイアログ	かんいにゅうりよくだいあるぐ	引数の入力をExcelリボンに作られたアイコンを使用する事で簡便化できる。
16	セルの自動更新	せるのじどうこうしん	自動更新する関数式を入力する事でExcelセルが自動的に数値更新する。
17	証券基幹システム	しょうけんきかんしすてむ	SBIネオトレード証券システムの中心となるシステム。必要な情報取得や発注をAPIで基幹システムにつなぐ。
18	仮想足フラグ	かそうあしふらぐ	足データ存在の有無を表すフラグ。有りはFALSE、無しはTRUE。
19	他チャネル	たちゃねる	当社発注ツール「NEOTRADER」「カブ板」「NEOTRADE W」などを指す。

文字列型 仕分け 「 ” 」 ダブルクォーテーション処理

文字列① 必要	「 ” 」で括る必要がある
文字列② 状況により	特定条件下 「 ” 」で括る必要がある
文字列③ どちらでも	「 ” 」で括っても括らなくても機能する
文字列④ 不必要	「 ” 」で括ると機能しない

ワークシート関数 一覧表

Excelに標準装備された計算処理を行う関数(SUM、AVERAGEなど)と同様に、セルにネオトレAPIオリジナルの関数を入力して利用します。

簡易入力列に○がある関数は簡易ダイアログの用意があり、関数入力をサポートします。

自動更新列に○がある関数は、取得する値がセル内で自動的に更新されます。自動更新しない関数について、最新の状態を確認するためにはリフレッシュ(再計算)させる必要があります。

使用する関数を入力する際、すべて小文字で入力した場合でも正常に実行可能です。(処理上で自動的に大文字・小文字に変換し実行される為)

カテゴリ	No	ネオトレAPI関数名称	関数	自動更新	簡易入力	機能説明	備考
国内株式 (執行系)	W01	国内株式 現物注文	SNT.EqtyOrder	—	—	銘柄や執行条件を入力して、現物株式の注文ができる関数です。	
	W02	国内株式 信用新規注文	SNT.MrgnOpenOrder	—	—	銘柄や執行条件を入力して、信用取引の新規注文ができる関数です。	
	W03	国内株式 信用返済注文	SNT.MrgnCloseOrder	—	—	信用取引建玉のIDを指定して、信用取引返済注文ができる関数です。	
	W04	国内株式 訂正注文	SNT.ModifyOrder	—	—	注文IDを指定して、発注済みの現物株式注文や信用取引注文を訂正できる関数です。	
	W05	国内株式 取消注文	SNT.CancelOrder	—	—	注文IDを指定して、発注済みの現物株式注文や信用取引注文を取消できる関数です。	
国内株式 (照会系)	W06	国内株式 現物注文約定照会	SNT.EqtyOrderList	—	○	当社システムから発注した現物株式注文の一覧が取得できる関数です。 取得できる期間は営業日発注分と翌営業日発注分となります。約定済み、取消済みのレコードを含みます。	
	W07	国内株式 現物注文訂正・取消可能注文一覧	SNT.EqtyEnableOrderList	—	—	当社システムから発注した現物株式注文で、訂正・取消可能な注文の一覧が取得できる関数です。 取得できる期間は営業日発注分と翌営業日発注分となります。	
	W08	国内株式 現物残高照会	SNT.EqtyPositionList	—	○	保有する現物株式の残高を一覧で表示できる関数です。	
	W09	国内株式 信用注文約定照会	SNT.MrgnOrderList	—	○	当社システムから発注した信用取引注文の一覧が取得できる関数です。 取得できる期間は営業日発注分と翌営業日発注分となります。約定済み、取消済みのレコードを含みます。	
	W10	国内株式 信用注文訂正・取消可能注文一覧	SNT.MrgnEnableOrderList	—	—	当社システムから発注した信用取引注文で、訂正・取消可能な注文の一覧が取得できる関数です。 取得できる期間は営業日発注分と翌営業日発注分となります。	
	W11	国内株式 信用残高照会	SNT.MrgnPositionList	—	○	保有する信用建玉の一覧で表示できる関数です。	
	W12	国内株式 取引余力	SNT.TradingPower	—	—	「現物買付可能額」「信用新規建可能額」「保証金預託率」の値が取得できる関数です。	
国内株式 (情報系)	W13	国内株式 注文有効期限	SNT.ExpDateList	—	—	注文時に必要な利用可能な有効期限を取得する。	
	W14	国内株式 銘柄マスタ	SNT.StockInstMaster	—	—	銘柄コードを指定して、四本値・売買高・売買代金・Tick回数情報などが一関数で取得できる関数です。 自動更新は行われません。	
	W15	国内株式 銘柄情報	SNT.StockInst	○	○	銘柄コードを指定して、一つのセルに一つの自動更新する項目を取得できる関数です。	
	W16	国内株式 銘柄詳細情報	SNT.StockInstDetail	—	—	銘柄コードを指定して、一つのセルに一つの項目を取得できる関数です。 項目は、上場来情報や決算情報など138項目あります。自動更新は行われません。	
	W17	国内株式 銘柄規制情報	SNT.StockInstReg	—	—	指定した株式銘柄の株式銘柄規制情報(増担保、新規建停止など)が取得できる関数です。	
	W18	国内株式ヒストリカルデータ	SNT.StockHist	—	—	指定した株式銘柄のヒストリカルデータ一覧を取得できる関数です。取得できる本数は、足種により異なります。	
	W19	国内株式 ランキング	SNT.StockRanking	—	○	値上り率・値下り率・売買高など約60種株式ランキングを取得できる関数です。	
指数 (情報系)	W20	指数銘柄情報	SNT.IndexInst	○	○	10種ある指数コードから選択して、一つのセルに一つの自動更新する項目を取得できる関数です。	
	W21	指数ヒストリカルデータ	SNT.IndexHist	—	—	10種ある指数コードから選択して、ヒストリカルデータ一覧を取得できる関数です。取得できる本数は、足種により異なります。	
為替 (情報系)	W22	為替銘柄情報	SNT.ForexInst	○	○	12種ある通貨ペアから選択して、一つのセルに一つの自動更新する項目を取得できる関数です。	
	W23	為替ヒストリカルデータ	SNT.ForexHist	—	—	12種ある通貨ペアから選択して、ヒストリカルデータ一覧を取得できる関数です。取得できる本数は、足種により異なります。	
その他	W24	ネオトレAPI注文管理ID一覧	SNT.OrderIdList	—	—	ユーザが任意で割り当てたIDを一覧化する。 Excel起動中に出力された注文ID(メモリ上)を一覧で取得する。	

W01 国内株式 現物注文

SNT.EqtyOrder

文字列型 仕分け
「」 ダブルクォーテーション処理

文字列①： 必要
文字列②： 状況により
文字列③： どちらでも
文字列④： 不必要

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例) 銘柄コード(9999)を500円の指値で100株買発注する場合(特定口座)
=SNT.EqtyOrder(1,TRUE,9999,3,0,100,1,500,11,1,,1)

1	ネオトレAPI注文管理ID	1以上 1兆までの整数を入力（重複不可）	必須	数値	Excelから注文を一意に識別するための番号
2	発注トリガー	FALSE: 待機、TRUE: 発注	任意	真偽値	省略時は「FALSE:待機」とする
3	銘柄コード	「銘柄コード.市場」の式で入力	必須	文字列②	T または t: 東証(.市場の省略時はT: 東証とする)
4	売買	1: 売却、3: 買付	必須	文字列④	
5	注文区分	0: 通常注文、1: 逆指値S注文、2: OCO注文、3: IFD注文、4: IFDO注文、5: 逆指値M注文	必須	文字列④	売買が「1: 売却」時、3: IFD注文、4: IFDO注文の選択は不可
6	注文数量	注文数量を入力	必須	数値	
7	注文単価区分	0: 成行、1: 指値	任意	文字列④	注文区分が「0: 通常注文」or 「2: OCO注文」の場合、必須
8	注文単価	注文単価を入力	任意	数値	成行の場合は省略
9	執行条件	1: 指定なし、3: 寄付、4: 引け、7: 不成、8: IOC 31: 大引け、32: 大引け不成	必須	文字列④	注文区分が「1: 逆指値S注文」時、「5: 逆指値M注文」時、→ 3・4・7・8・31・32の選択は不可 注文区分が「2: OCO注文」時、→ 3・4・8・31・32の選択は不可 注文区分が「3: IFD注文」時、「4: IFDO注文」時、→ 8・31・32の選択は不可 注文単価区分が「0: 成行」時、7・32の選択は不可
10	注文期限区分	1: 当日限り、2: 期間指定	必須	文字列④	執行条件が「3: 寄付」時、「4: 引け」時、「7: 不成」時、「8: IOC」時、「31: 大引け」時、「32: 大引け不成」時→ 2: 期間指定の選択は不可
11	注文期限	注文期限区分が「2: 期間指定」の場合、必須	任意	文字列③	YYYYMMDD形式の文字列
12	口座区分	0: 一般、1: 特定	必須	文字列④	NISAは非対応
13	逆指値条件単価	逆指値条件単価を入力	任意	数値	注文区分が「1: 逆指値S注文」or 「2: OCO注文」or 「5: 逆指値M注文」の場合、必須
14	逆指値注文単価区分	0: 成行、1: 指値	任意	文字列④	注文区分が「1: 逆指値S注文」or 「2: OCO注文」or 「5: 逆指値M注文」の場合、必須
15	逆指値注文単価	逆指値単価を入力	任意	数値	成行の場合は省略
16	子注文の注文単価	子注文の注文単価を入力	任意	数値	
17	子注文の注文値幅	子注文の注文値幅を入力	任意	数値	
18	子注文の執行条件	1: 指定なし、3: 寄付、4: 引け、7: 不成	任意	文字列④	注文区分が「4: IFDO注文」時、3: 寄付、4: 引け の選択は不可
19	子注文の逆指値条件単価	子注文の逆指値条件単価を入力	任意	数値	注文区分が「4: IFDO注文」かつ子注文の注文単価が指定されている場合、必須 注文区分が「3: IFD注文」かつ子注文の執行条件が「3: 寄付」時、入力不可 注文区分が「3: IFD注文」かつ子注文の執行条件が「4: 引け」時、入力不可 注文区分が「3: IFD注文」かつ子注文の執行条件が「7: 不成」時、入力不可
20	子注文の逆指値条件値幅	子注文の逆指値条件値幅を入力	任意	数値	注文区分が「4: IFDO注文」かつ子注文の注文値幅が指定されている場合、必須 注文区分が「3: IFD注文」時、入力不可
21	子注文の逆指値注文単価区分	0: 成行、1: 指値	任意	文字列④	注文区分が「4: IFDO注文」の場合、必須 子注文の注文値幅が指定されている場合、1: 指値の選択は不可
22	子注文の逆指値注文単価	子注文の逆指値注文単価を入力	任意	数値	成行の場合は省略

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、式の末尾「=」マーク後にステイタスが記載されます。

No	ステイタスケース	表示文言
例1	正常に発注された場合	注文ID=XXXX
例2	既に使用済みのネオトレAPI注文管理IDを指定した場合	ネオトレAPI注文管理ID=XXXX は既に使用済みです
例3	発注トリガーがFalse状態の場合	待機中
例4	発注トリガーがTrue状態かつ発注機能がOFFの場合	発注ロック中(発注を行うには発注機能を有効にしてください)
例5	発注可能状態で、サーバ未接続の場合	接続待ち
例6	電文応答待ちの場合	応答待ち
例7	注文確認画面でキャンセルした場合	キャンセル
例8	発注済みの場合	発注済み(注文ID=XXXX)
例9	入力引数のバリデーションチェックのメッセージ表示	引数チェックエラーメッセージ
例10	サーバチェックのエラーメッセージ表示	サーバチェックエラーメッセージ
	その他	状況に応じてステイタスが表示される

W02 国内株式 信用新規注文

SNT.MrgnOpenOrder

文字列型 仕分け
「」 ダブルクォーテーション処理

文字列①： 必要
文字列②： 状況により
文字列③： どちらでも
文字列④： 不必要

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例) 銘柄コード(9999)を500円の指値で100株の制度信用新規買発注する場合
=SNT.MrgnOpenOrder(1,TRUE,9999,3,1,0,100,1,500,1,1,,1)

No	項目名	入力説明	入力	データ型	注 記
1	ネオトレAPI注文管理ID	1以上 1兆までの整数を入力（重複不可）	必須	数値	Excelから注文を一意に識別するための番号
2	発注トリガー	FALSE: 待機、TRUE: 発注	任意	真偽値	省略時は「FALSE:待機」とする
3	銘柄コード	「銘柄コード,市場」の式で入力	必須	文字列②	T または t: 東証(,市場の省略時はT: 東証とする)
4	売買	1: 売建て、3: 買建て	必須	文字列④	
5	信用区分	1: 制度信用(6ヶ月)、2: 一般信用(無期限)	必須	文字列④	
6	注文区分	0: 通常注文、1: 逆指値S注文、2: OCO注文、3: IFD注文、4: IFDO注文、 5: 逆指値M注文	必須	文字列④	
7	注文数量	注文数量を入力	必須	数値	
8	注文単価区分	0: 成行、1: 指値	任意	文字列④	注文区分が「0: 通常注文」or「2: OCO注文」の場合、必須
9	注文単価	注文単価を入力	任意	数値	成行の場合は省略
10	執行条件	1: 指定なし、 3: 寄付、4: 引け、 7: 不成、 8: IOC 31: 大引け、 32:大引け不成	必須	文字列④	注文区分が「1: 逆指値S注文」時、「5: 逆指値M注文」時、 → 3・4・7・8・31・32の選択は不可 注文区分が「2: OCO注文」時、 → 3・4・8・31・32の選択は不可 注文区分が「3: IFD注文」時、「4: IFDO注文」時、 → 8・31・32の選択は不可 注文単価区分が「0: 成行」時、7・32の選択は不可
11	注文期限区分	1: 当日限り、 2: 期間指定	必須	文字列④	執行条件が「3: 寄付」時、「4: 引け」時、「7: 不成」時、「8: IOC」時、「31: 大引け」時、「32: 大引け不成」時→ 2: 期間指定の選択は不可
12	注文期限	注文期限区分が「2: 期間指定」の場合、必須	任意	文字列③	YYYYMMDD形式の文字列
13	口座区分	0: 一般、1: 特定	必須	文字列④	NISAは非対応
14	逆指値条件単価	逆指値条件単価を入力	任意	数値	注文区分が「1: 逆指値S注文」or「2: OCO注文」or「5: 逆指値M注文」の場合、必須
15	逆指値注文単価区分	0: 成行、1: 指値	任意	文字列④	注文区分が「1: 逆指値S注文」or「2: OCO注文」or「5: 逆指値M注文」の場合、必須
16	逆指値注文単価	逆指値単価を入力	任意	数値	成行の場合は省略
17	子注文の注文単価	子注文の注文単価を入力	任意	数値	
18	子注文の注文値幅	子注文の注文値幅を入力	任意	数値	
19	子注文の執行条件	1: 指定なし、 3: 寄付、4: 引け、 7: 不成	任意	文字列④	注文区分が「4: IFDO注文」時、3: 寄付、4: 引け の選択は不可
20	子注文の逆指値条件単価	子注文の逆指値条件単価を入力	任意	数値	注文区分が「4: IFDO注文」かつ子注文の注文単価が指定されている場合、必須 注文区分が「3: IFD注文」かつ子注文の執行条件が「3: 寄付」時、入力不可 注文区分が「3: IFD注文」かつ子注文の執行条件が「4: 引け」時、入力不可 注文区分が「3: IFD注文」かつ子注文の執行条件が「7: 不成」時、入力不可
21	子注文の逆指値条件値幅	子注文の逆指値条件値幅を入力	任意	数値	注文区分が「4: IFDO注文」かつ子注文の注文値幅が指定されている場合、必須 注文区分が「3: IFD注文」時、入力不可
22	子注文の逆指値注文単価区分	0: 成行、1: 指値	任意	文字列④	注文区分が「4: IFDO注文」の場合、必須 子注文の注文値幅が指定されている場合、1: 指値の選択は不可
23	子注文の逆指値注文単価	子注文の逆指値注文単価を入力	任意	数値	成行の場合は省略

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、式の末尾「⇒」マーク後にステータスが記載されます。

No	ステータスケース	表示文言
例1	正常に発注された場合	注文ID=XXXX
例2	既に使用済みのネオトレAPI注文管理IDを指定した場合	ネオトレAPI注文管理ID=XXXX は既に使用済みです
例3	発注トリガーがFalse状態の場合	待機中
例4	発注トリガーがTrue状態かつ発注機能がOFFの場合	発注ロック中(発注を行うには発注機能を有効にしてください)
例5	発注可能状態で、サーバ未接続の場合	接続待ち
例6	電文応答待ちの場合	応答待ち
例7	注文確認画面でキャンセルした場合	キャンセル
例8	発注済みの場合	発注済み(注文ID=XXXX)
例9	入力引数のバリデーションチェックのメッセージ表示	引数チェックエラーメッセージ
例10	サーバチェックのエラーメッセージ表示	サーバチェックエラーメッセージ
	その他 状況に応じてステータスが表示される	

W03 国内株式 信用返済注文

SNT.MrgnCloseOrder

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)銘柄コード(9999)の制度信用買建玉100株を500円の指値で返済売発注する場合
=SNT.MrgnCloseOrder(1,TRUE,9999,1,"12345678",0,100,1,500,1,1,)

文字列型 仕分け
「」 ダブルクォーテーション処理

文字列① : 必要
文字列② : 状況により
文字列③ : どちらでも
文字列④ : 不必要

No	項目名	入力説明	入力	データ型	注 記
1	ネオトレAPI注文管理ID	1以上 1兆までの整数を入力（重複不可）	必須	数値	Excelから注文を一意に識別するための番号
2	発注トリガー	FALSE: 待機、TRUE: 発注	任意	真偽値	省略時は「FALSE:待機」とする
3	銘柄コード	「銘柄コード,市場」の式で入力	必須	文字列②	T または t: 東証(.市場の省略時はT: 東証とする)
4	売買	1: 売建て、 3: 買建て	必須	文字列④	
5	返済建玉ID	国内株式 信用残高照会 で取得した返済対象の建玉IDを入力	必須	文字列①	複数の建玉を返済する場合、「@」区切りで指定する 入力形式は「返済建玉ID」で入力する
6	注文区分	0: 通常注文、 1: 逆指値S注文、 2: OCO注文、 5: 逆指値M注文	必須	文字列④	
7	注文数量	返済数量を入力	必須	文字列②	複数の建玉を返済する場合、指定した順に「@」区切りで入力する
8	注文単価区分	0: 成行、 1: 指値	任意	文字列④	注文区分が「0: 通常注文」 or 「2: OCO注文」の場合、必須
9	注文単価	注文単価を入力	任意	数値	成行の場合は省略
10	執行条件	1: 指定なし、 3: 寄付、 4: 引け、 7: 不成、 8: IOC 31: 大引け、 32:大引け不成	必須	文字列④	注文区分が「1: 逆指値S注文」時、「5: 逆指値M注文」時、 → 3・4・7・8・31・32の選択は不可 注文区分が「2: OCO注文」時、 → 3・4・8・31・32の選択は不可 注文単価区分が「0: 成行」時、7・32の選択は不可
11	注文期限区分	1: 当日限り、 2: 期間指定	必須	文字列④	執行条件が「3: 寄付」時、「4: 引け」時、「7: 不成」時、「8: IOC」時、「31: 大引け」時、「32:大引け不成」時 → 2: 期間指定の選択は不可
12	注文期限	注文期限区分が「2: 期間指定」の場合、必須	任意	文字列③	YYYYMMDD形式の文字列
13	逆指値条件単価	逆指値条件単価を入力	任意	数値	注文区分が 「1: 逆指値S注文」 or 「2: OCO注文」 or 「5: 逆指値M注文」の場合、必須
14	逆指値注文単価区分	0: 成行、 1: 指値	任意	文字列④	注文区分が 「1: 逆指値S注文」 or 「2: OCO注文」 or 「5: 逆指値M注文」の場合、必須
15	逆指値注文単価	逆指値単価を入力	任意	数値	成行の場合は省略

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、式の末尾「⇒」マーク後にステイタスが記載されます。

No	ステイタスケース	表示文言
例1	正常に発注された場合	注文ID=XXXX
例2	既に使用済みのネオトレAPI注文管理IDを指定した場合	ネオトレAPI注文管理ID=XXXX は既に使用済みです
例3	発注トリガーがFalse状態の場合	待機中
例4	発注トリガーがTrue状態かつ発注機能がOFFの場合	発注ロックス中(発注を行うには発注機能を有効にしてください)
例5	発注可能状態で、サーバ未接続の場合	接続待ち
例6	電文応答待ちの場合	応答待ち
例7	注文確認画面でキャンセルした場合	キャンセル
例8	発注済みの場合	発注済み(注文ID=XXXX)
例9	入力引数のバリデーションチェックのメッセージ表示	引数チェックエラーメッセージ
例10	サーバチェックのエラーメッセージ表示	サーバチェックエラーメッセージ
	その他	状況に応じてステイタスが表示される

W04 国内株式 訂正注文

SNT.ModifyOrder

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)銘柄コード(9999)の現物買注文を500円の指値で200株の注文へ訂正する場合
=SNT.ModifyOrder(1,TRUE,2,"1234567",200,1,300,1,)

文字列型 仕分け
「」 ダブルクォーテーション処理

文字列①： 必要
文字列②： 状況により
文字列③： どちらでも
文字列④： 不必要

No	項目名	入力説明	入力	データ型	注 記
1	ネオトレAPI注文管理ID	1以上 1兆までの整数を入力（重複不可）	必須	数値	Excelから注文を一意に識別するための番号
2	発注トリガー	FALSE: 待機、TRUE: 発注	任意	真偽値	省略時は「FALSE:待機」とする
3	商品区分	2: 現物、 3: 信用	必須	文字列④	
4	注文ID	全チャネル間で注文を一意に識別するための番号	必須	文字列①	W06 現物注文約定照会 W07 国内株式 現物注文訂正・取消可能注文一覧 W09 信用注文約定照会 W10 国内株式 信用注文訂正・取消可能注文一覧 から取得可能
5	注文数量	訂正後の注文数量を入力	必須	数値	
6	注文単価区分	0: 成行、1: 指値	任意	文字列④	元注文の注文区分が「0: 通常注文」or「2: OCO注文」の場合、必須
7	注文単価	注文単価を入力	任意	数値	成行の場合は省略
8	執行条件	1: 指定なし、 3: 寄付、 4: 引け、 7: 不成、 8: IOC 31: 大引け、 32: 大引け不成	必須	文字列④	元注文の注文区分が「1: 逆指値S注文」時、「5: 逆指値M注文」時、→ 3・4・7・31・32の選択は不可 元注文の注文区分が「2: OCO注文」時、→ 3・4・31・32の選択は不可 元注文の注文単価区分が「0: 成行」時、7・32の選択は不可 元注文の執行区分が31・32の場合、執行区分は変更不可 元注文の注文区分が通常注文以外の場合、31・32の選択は不可 元注文の注文区分が通常注文かつ執行区分が31・32以外の場合、31・32の選択は不可
9	注文期限	元注文の注文期限区分が「2: 期間指定」の場合、必須	任意	文字列③	YYYYMMDD形式の文字列 元注文の注文区分が通常注文かつ執行区分が31・32以外の場合、注文期限に期間指定は不可
10	逆指値条件単価	逆指値条件単価を入力	任意	数値	元注文が注文区分が「1: 逆指値S注文」or「2: OCO注文」or「5: 逆指値M注文」の場合、必須
11	逆指値注文単価区分	0: 成行、1: 指値	任意	文字列④	元注文の注文区分が「1: 逆指値S注文」or「2: OCO注文」or「5: 逆指値M注文」の場合、必須
12	逆指値注文単価	逆指値単価を入力	任意	数値	成行の場合は省略
13	子注文の注文単価	子注文の注文単価を入力	任意	数値	
14	子注文の注文値幅	子注文の注文値幅を入力	任意	数値	
15	子注文の執行条件	1: 指定なし、 3: 寄付、 4: 引け、 7: 不成	任意	文字列④	元注文の注文区分が「4: IFDO注文」時、3: 寄付、4: 引け の選択は不可
16	子注文の逆指値条件単価	子注文の逆指値条件単価を入力	任意	数値	元注文の注文区分が「4: IFDO注文」かつ子注文の注文単価が指定されている場合、必須 元注文の注文区分が「3: IFD注文」かつ子注文の執行条件が「3: 寄付」時、入力不可 元注文の注文区分が「3: IFD注文」かつ子注文の執行条件が「4: 引け」時、入力不可 元注文の注文区分が「3: IFD注文」かつ子注文の執行条件が「7: 不成」時、入力不可
17	子注文の逆指値条件値幅	子注文の逆指値条件値幅を入力	任意	数値	元注文の注文区分が「4: IFDO注文」かつ子注文の注文値幅が指定されている場合、必須 元注文の注文区分が「3: IFD注文」時、入力不可
18	子注文の逆指値注文単価区分	0: 成行、 1: 指値	任意	文字列④	元注文の注文区分が「4: IFDO注文」の場合、必須 子注文の注文値幅が指定されている場合、1: 指値の選択は不可
19	子注文の逆指値注文単価	子注文の逆指値注文単価を入力	任意	数値	成行の場合は省略

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、式の末尾「⇒」マーク後にステイタスが記載されます。

No	ステイタスケース	表示文言
例1	正常に発注された場合	注文ID=XXXX
例2	既に使用済みのネオトレAPI注文管理IDを指定した場合	ネオトレAPI注文管理ID=XXXX は既に使用済みです
例3	発注トリガーがFalse状態の場合	待機中
例4	発注トリガーがTrue状態かつ発注機能がOFFの場合	発注ロック中(発注を行うには発注機能を有効にしてください)
例5	発注可能状態で、サーバ未接続の場合	接続待ち
例6	電文応答待ちの場合	応答待ち
例7	注文確認画面でキャンセルした場合	キャンセル
例8	発注済みの場合	発注済み(注文ID=XXXX)
例9	入力引数のバリデーションチェックのメッセージ表示	引数チェックエラーメッセージ
例10	サーバチェックのエラーメッセージ表示	サーバチェックエラーメッセージ
	その他 状況に応じてステイタスが表示される	

W05 国内株式 取消注文

SNT.CancelOrder

文字列型 仕分け
「」ダブルクォーテーション処理

文字列①：必要
文字列②：状況により
文字列③：どちらでも
文字列④：不必要

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)注文ID「12345678」の現物注文を取消する場合
=SNT.CancelOrder(1,TRUE,2,"12345678")

No	項目名	入力説明	入力	データ型	注 記
1	ネオトレAPI注文管理ID	1以上 1兆までの整数を入力（重複不可）	必須	数値	Excelから注文を一意に識別するための番号
2	発注トリガー	FALSE: 待機、TRUE: 発注	任意	論理値	省略時は「FALSE:待機」とする
3	商品区分	2: 現物、 3: 信用	必須	文字列④	
4	注文ID	全チャネル間で注文を一意に識別するための番号	必須	文字列①	W06 現物注文約定照会 W07 国内株式 現物注文訂正・取消可能注文一覧 W09 信用注文約定照会 W10 国内株式 信用注文訂正・取消可能注文一覧 から取得可能

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、式の末尾「⇒」マーク後にステイタスが記載されます。

No	ステイタスケース	表示文言
例1	正常に発注された場合	注文ID=XXXX
例2	既に使用済みのネオトレAPI注文管理IDを指定した場合	ネオトレAPI注文管理ID=XXXX は既に使用済みです
例3	発注トリガーがFalse状態の場合	待機中
例4	発注トリガーがTrue状態かつ発注機能がOFFの場合	発注ロック中(発注を行うには発注機能を有効にしてください)
例5	発注可能状態で、サーバ未接続の場合	接続待ち
例6	電文応答待ちの場合	応答待ち
例7	注文確認画面でキャンセルした場合	キャンセル
例8	発注済みの場合	発注済み(注文ID=XXXX)
例9	入力引数のバリデーションチェックのメッセージ表示	引数チェックエラーメッセージ
例10	サーバチェックのエラーメッセー表示	サーバチェックエラーメッセージ
	その他 状況に応じてステイタスが表示される	

SNT.EqtyOrderList

【引数】 ネットレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)現物取引の注文約定照会を50行分取得する。(銘柄コード、約定状態、表示する項目は全取得)
=SNT.EqtyOrderList(TRUE,,,50,,)

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	ヘッダ行表示	TRUE: ヘッダ行を表示する、FALSE: ヘッダ行を表示しない		---	---
2	銘柄コード	「銘柄コード,市場」の式で入力	T または t: 東証(,市場の省略時はT: 東証とする) 省略時は全銘柄指定とする	任意	文字列②
3	約定状態	0: 全取得、1: 未約定、2: 一部約定、3: 全部約定	省略時は「0: 全取得」とする	任意	文字列④
4	表示する行数	入力された件数を表示する	省略時は500件取得する (※500件は一度で取得できる最大値)	任意	数値
5	表示するページ番号	表示するページ番号を指定する	500件を1ページ最大数とし、それ以上のレコードを取得する場合に使用 省略時は1ページ目とする。また、存在しないページを指定した場合、1ページ目が返却される	任意	数値
6	表示する項目	戻り値の項目名を指定する、複数の場合は「@」区切りとする	省略した場合は全て指定された扱いになる 入力形式は「表示する項目」とする。複数での入力例「注文ID@銘柄コード@売買」	任意	文字列①
7	ソート順	:asc 昇順 :desc 降順	省略した場合は銘柄コード昇順となる ソート対象項目:銘柄コード、口座区分、売買、注文日時、注文期限 例) 「売買:asc」 複数条件を加える場合は「@」区切り 例) 「売買:asc@注文日時:desc」	任意	文字列①

【戻り値】 ネットレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	注 記
1	注文ID	全チャネル間で注文を一意に識別するための番号	
2	市場	東証、名証、福証、札証	
3	銘柄コード	銘柄コードを表示する	
4	銘柄名称	銘柄名称を表示する	
5	口座区分	一般、特定、NISA、NISA成長投資	
6	売買	買付、売却、立会外分売	
7	注文区分	通常、逆指値S、OCO、IFD、IFDO、逆指値M	
8	執行条件	指定なし、寄付、引け、不成、IOC、大引け、大引け不成	
9	注文数量	注文数量を表示する	
10	注文単価区分	成行、指値	
11	注文単価	注文単価を表示する	
12	逆指値トリガー状況	トリガー前、トリガー済	
13	逆指値条件単価	逆指値条件単価を表示する	
14	逆指値注文単価区分	成行、指値	
15	逆指値注文単価	逆指値注文単価を表示する	
16	受付状態	受付中、受付済、受付エラー、発注待ち	
17	約定状態	未約定、一部約定、全部約定	
18	失効状態	失効なし、一部失効、失効	
19	訂正取消状態	訂正取消なし、取消中、一部取消完了、全部取消完了、取消失敗、訂正中、一部訂正完了、全部訂正完了、訂正失敗、切替中、一部切替完了、全部切替完了、切替失敗	
20	約定数量	約定数量を表示する	
21	未約定数量	注文数量から約定数量を差し引いた値	
22	約定代金	「分割約定一覧」の注文毎の情報から約定数量と約定単価を乗じたものを合算した値	
23	平均約定単価	平均約定単価を表示する	
24	概算受渡代金	買付時:約定代金 + (未約定株数 * 注文単価(成行の場合は値幅上限)) + 手数料 売却時:約定代金 + (未約定株数 * 注文単価(成行の場合は値幅下限)) - 手数料	※注文単価は注文執行条件により計算が異なる ※消費税も計算に含まれる
25	注文日時	注文日時を表示する	
26	注文期限区分	当日限り、または注文期限項目に日付が設定される	
27	注文期限	注文期限区分が「当日限り」ではない場合、注文期限日を表示する	
28	子注文ID	子注文IDを表示する	
29	子注文の注文数量	子注文の注文数量を表示する	
30	子注文の注文単価	子注文の注文単価を表示する	
31	子注文の注文値幅	子注文の注文値幅を表示する	
32	子注文の執行条件	指定なし、寄付、引け、不成	
33	子注文の逆指値トリガー状況	トリガー前、トリガー済	
34	子注文の逆指値条件単価	子注文の逆指値条件単価を表示する	
35	子注文の逆指値条件値幅	子注文の逆指値条件値幅を表示する	
36	子注文の逆指値注文単価区分	成行、指値	
37	子注文の逆指値注文単価	子注文の逆指値注文単価を表示する	
38	子注文の受付状態	受付中、受付済、受付エラー、予約、発注待ち	
39	子注文の約定状態	未約定、一部約定、全部約定	
40	子注文の失効状態	失効なし、一部失効、失効	
41	子注文の訂正取消状態	訂正取消なし、取消中、一部取消完了、全部取消完了、取消失敗、訂正中、一部訂正完了、全部訂正完了、訂正失敗、切替中、一部切替完了、全部切替完了、切替失敗	
42	子注文の約定数量	子注文の約定数量を表示する	
43	子注文の平均約定単価	子注文の平均約定単価を表示する	
44	子注文の概算受渡代金	子注文の概算受渡代金を表示する	
45	子注文の注文日時	子注文の注文日時を表示する	
46	子注文の注文期限区分	当日限り、または注文期限項目に日付が設定される	
47	子注文の注文期限	注文期限区分が「当日限り」ではない場合、注文期限日を表示する	
48	訂正可能フラグ	TRUE、FALSE	
49	取消可能フラグ	TRUE、FALSE	
50	総ページ数	取得した一覧情報の総ページ数を表示する	
51	総レコード数	取得した一覧の総レコード数を表示する	
52	表示ページ番号	現在表示している表示ページ番号	

W07 国内株式 現物注文訂正・取消可能注文一覧

SNT.EqtyEnableOrderList

文字列型 仕分け
「」 ダブルクォーテーション処理

文字列①： 必要
文字列②： 状況により
文字列③： どちらでも
文字列④： 不必要

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)現物取引の訂正/取消可能な注文を50行取得する(銘柄コード、約定状態、表示する項目は全取得)
=SNT.EqtyEnableOrderList(TRUE,,50,,)

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	ヘッダ行表示	TRUE: ヘッダ行を表示する、FALSE: ヘッダ行を表示しない		必須	真偽値
2	銘柄コード	「銘柄コード,市場」の式で入力	T または T 東証(市場の省略時はT: 東証とする) 省略時は全銘柄指定とする	任意	文字列②
3	表示する行数	入力された件数を表示する	省略時は500件取得する (※500件は一度で取得できる最大値)	任意	数値
4	表示するページ番号	表示するページ番号を指定する	500件を1ページ最大数とし、それ以上のレコードを取得する場合に使用 省略時は1ページ目とする。また、存在しないページを指定した場合、1ページ目が返却される	任意	数値
5	表示する項目	戻り値の項目名を指定する、複数の場合は「@」区切りとする	省略した場合は全て指定された扱いになる 入力形式は「」表示する項目」とする。複数での入力例 "注文ID@銘柄コード@売買"	任意	文字列①
6	ソート順	:asc 昇順 :desc 降順	省略した場合は銘柄コード昇順となる ソート対象項目:銘柄コード、口座区分、売買、注文日時、注文期限 例) "売買:asc" 複数条件を加える場合は「@」区切り 例) "売買:asc@注文日時:desc"	任意	文字列①

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	注 記
1	注文ID	全チャネル間で注文を一意に識別するための番号	
2	市場	東証、名証、福証、札証	
3	銘柄コード	銘柄コードを表示する	
4	銘柄名称	銘柄名称を表示する	
5	口座区分	一般、特定、NISA、NISA成長投資	
6	売買	買付、売却、立会外分売	
7	注文区分	通常、逆指値S、OCO、IFD、IFDO、逆指値M	
8	執行条件	指定なし、寄付、引け、不成、IOC、大引け、大引け不成	
9	注文数量	注文数量を表示する	
10	注文単価区分	成行、指値	
11	注文単価	注文単価を表示する	
12	逆指値トリガー状況	トリガー前、トリガー済	
13	逆指値条件単価	逆指値条件単価を表示する	
14	逆指値注文単価区分	成行、指値	
15	逆指値注文単価	逆指値注文単価を表示する	
16	受付状態	受付中、受付済、受付エラー、発注待ち	
17	約定状態	未約定、一部約定、全部約定	
18	失効状態	失効なし、一部失効、失効	
19	訂正取消状態	訂正取消なし、取消中、一部取消完了、全部取消完了、取消失敗、訂正中、一部訂正完了、全部訂正完了、 訂正失敗、切替中、一部切替完了、全部切替完了、切替失敗	
20	約定数量	約定数量を表示する	
21	未約定数量	注文数量から約定数量を差し引いた値	
22	約定代金	「分割約定一覧」の注文毎の情報から約定数量と約定単価を乗じたものを合算した値	
23	平均約定単価	平均約定単価を表示する	
24	概算受渡代金	買付時:約定代金 + (未約定株数 * 注文単価(成行の場合は値幅上限)) + 手数料 売却時:約定代金 + (未約定株数 * 注文単価(成行の場合は値幅下限)) - 手数料	※注文単価は注文執行条件により計算が異なる ※消費税も計算に含まれる
25	注文日時	注文日時を表示する	
26	注文期限区分	当日限り、または注文期限項目に日付が設定される	
27	注文期限	注文期限区分が「当日限り」ではない場合、注文期限日を表示する	
28	子注文の注文単価	子注文の注文単価を表示する	
29	子注文の注文値幅	子注文の注文値幅を表示する	
30	子注文の執行条件	指定なし、寄付、引け、不成	
31	子注文の逆指値条件単価	子注文の逆指値条件単価を表示する	
32	子注文の逆指値条件値幅	子注文の逆指値条件値幅を表示する	
33	子注文の逆指値注文単価区分	成行、指値	
34	子注文の逆指値注文単価	子注文の逆指値注文単価を表示する	
35	訂正可能フラグ	TRUE、FALSE	
36	取消可能フラグ	TRUE、FALSE	
37	総ページ数	取得した一覧情報の総ページ数を表示する	
38	総レコード数	取得した一覧の総レコード数を表示する	
39	表示ページ番号	現在表示している表示ページ番号	

文字列型 仕分け
「」 ダブルクォーテーション処理

文字列①： 必要
文字列②： 状況により
文字列③： どちらでも
文字列④： 不必要

SNT.EqtyPositionList

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例) 現物残高照会を50行取得する(銘柄コード、全項目取得)
=SNT.EqtyPositionList(TRUE,,50,,)

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	ヘッダ行表示	TRUE: ヘッダ行を表示する、FALSE: ヘッダ行を表示しない		必須	真偽値
2	銘柄コード	「銘柄コード,市場」の式で入力	T または t; 東証(,市場の省略時はT: 東証とする) 省略時は全銘柄指定とする	任意	文字列②
3	表示する行数	入力された件数を表示する	省略時は500件取得する (※500件は一度で取得できる最大値)	任意	数値
4	表示するページ番号	表示するページ番号を指定する	500件を1ページ最大数とし、それ以上のレコードを取得する場合に使用 省略時は1ページ目とする。また、存在しないページを指定した場合、1ページ目が返却される	任意	数値
5	表示する項目	戻り値の項目名を指定する、複数の場合は「@」区切りとする	省略した場合は全て指定された扱いになる 入力形式は「」表示する項目」とする。複数例) “注文ID@銘柄コード@売買”	任意	文字列①
6	ソート順	:asc 昇順 :desc 降順	省略した場合は銘柄コード昇順となる ソート対象項目:銘柄コード、口座区分 例) “口座区分:asc” 複数条件を加える場合は「@」区切り	任意	文字列①

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	注 記
1	銘柄コード	銘柄コードを表示する	
2	銘柄名称	銘柄名称を表示する	
3	口座区分	一般、特定、NISA、NISA成長投資	
4	売却可能数量	売却注文の発注可能数量	
5	注文中数量	注文中数量を表示する	
6	残高数量	保有数量	
7	売却不能数量	保有数量－売却可能数量	
8	概算簿価単価	小数点2桁以下切り上げ	
9	売却可能フラグ	TRUE、FALSE	
10	総ページ数	取得した一覧情報の総ページ数を表示する	
11	総レコード数	取得した一覧の総レコード数を表示する	
12	表示ページ番号	現在表示している表示ページ番号	

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)現物取引の注文約定照会を50行分取得する。(銘柄コード、約定状態、表示する項目は全取得)
=SNT.MrgnOrderList(TRUE,,0,50,,)

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	ヘッダ行表示	TRUE: ヘッダ行を表示する、FALSE: ヘッダ行を表示しない		必須	真偽値
2	銘柄コード	「銘柄コード,市場」の式で入力	T または t: 東証(,市場の省略時はT: 東証とする) 省略時は全銘柄指定とする	任意	文字列②
3	約定状態	0: 全取得、1: 未約定、2: 一部約定、3: 全部約定	省略時は「0: 全取得」とする	任意	文字列④
4	表示する行数	入力された件数を表示する	省略時は500件取得する (※500件は一度で取得できる最大値)	任意	数値
5	表示するページ番号	表示するページ番号を指定する	500件を1ページ最大数とし、それ以上のレコードを取得する場合に使用 省略時は1ページ目とする。また、存在しないページを指定した場合、1ページ目が返却される	任意	数値
6	表示する項目	戻り値の項目名を指定する、複数の場合は「@」区切りとする	省略した場合は全て指定された扱いになる 入力形式は「」表示する項目」とする。複数例) "注文ID@銘柄コード@売買"	任意	文字列①
7	ソート順	:asc 昇順 :desc 降順	省略した場合は銘柄コード昇順となる ソート対象項目:銘柄コード、口座区分、売買、注文日時、注文期限 例) "売買:asc" 複数条件を加える場合は「@」区切り 例) "売買:asc@注文日時:desc"	任意	文字列①

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	注 記
1	注文ID	全チャネル間で注文を一意に識別するための番号	
2	市場	東証、名証、福証、札証	
3	銘柄コード	銘柄コードを表示する	
4	銘柄名称	銘柄名称を表示する	
5	口座区分	一般、特定	
6	取引区分	新規買、新規売、返済買、返済売、現引、現渡	
7	信用区分	制度信用(6ヶ月)、一般信用(無期限)	
8	注文区分	通常、逆指値S、OCO、IFD、IFDO、逆指値M	
9	執行条件	指定なし、寄付、引け、不成、IOC、大引け、大引け不成	
10	注文数量	注文数量を表示する	
11	注文単価区分	成行、指値	
12	注文単価	注文単価を表示する	
13	逆指値トリガー状況	トリガー前、トリガー済	
14	逆指値条件単価	逆指値条件単価を表示する	
15	逆指値注文単価区分	成行、指値	
16	逆指値注文単価	逆指値注文単価を表示する	
17	受付状態	受付中、受付済、受付エラー、発注待ち	
18	約定状態	未約定、一部約定、全部約定	
19	失効状態	失効なし、一部失効、失効	
20	訂正取消状態	訂正取消なし、取消中、一部取消完了、全部取消完了、取消失敗、訂正中、一部訂正完了、全部訂正完了、 訂正失敗、切替中、一部切替完了、全部切替完了、切替失敗	
21	約定数量	約定数量を表示する	
22	未約定数量	注文数量から約定数量を差し引いた値	
23	約定代金	「分割約定一覧」の注文毎の情報から約定数量と約定単価を乗じたものを合算した値	
24	平均約定単価	平均約定単価を表示する	
25	概算代金	概算建代金、概算決済損益代金、概算受渡代金を表示する 新規買建時: 建計算式は「約定代金 + (未約定株数 × 注文単価(成行の場合は値幅上限)) + 手数料」 新規売建時: 建計算式は「約定代金 + (未約定株数 × 注文単価(指値の場合は指値と現在値の高い方、成行の場合は値幅上限)) + 手数料」 返済買時: 決済損益代金は「約定代金 + (未約定株数 × 注文単価) - 建代金 - 前日までの金利諸経費 - 手数料」 返済買時: 決済損益代金は「建代金 - 約定代金 - (未約定株数 × 注文単価) - 前日までの金利諸経費 - 手数料」 現引時: 受渡代金の計算式は「建代金 × -1 - 諸経費」 現渡時: 受渡代金の計算式は「建代金 - 諸経費」	※注文単価は注文執行条件によって計算方法が異なる ※諸経費の中には金利だけではなく名義書換料や管理費等が含まれる場合もある ※消費税も計算に含まれる ※現引/現渡時の概算受渡代金については、貸株料や日歩などの諸経費が引かれる
26	注文日時	注文日時を表示する	
27	注文期限区分	当日限り、または注文期限項目に日付が設定される	
28	注文期限	注文期限区分が「当日限り」ではない場合、注文期限日を表示する	
29	子注文ID	子注文IDを表示する	
30	子注文の注文数量	子注文の注文数量を表示する	
31	子注文の注文単価	子注文の注文単価を表示する	
32	子注文の注文値幅	子注文の注文値幅を表示する	
33	子注文の執行条件	指定なし、寄付、引け、不成	
34	子注文の逆指値トリガー状況	トリガー前、トリガー済	
35	子注文の逆指値条件単価	子注文の逆指値条件単価を表示する	
36	子注文の逆指値条件値幅	子注文の逆指値条件値幅を表示する	
37	子注文の逆指値注文単価区分	成行、指値	
38	子注文の逆指値注文単価	子注文の逆指値注文単価を表示する	
39	子注文の受付状態	受付中、受付済、受付エラー、予約、発注待ち	
40	子注文の約定状態	未約定、一部約定、全部約定	
41	子注文の失効状態	失効なし、一部失効、失効	
42	子注文の訂正取消状態	訂正取消なし、取消中、一部取消完了、全部取消完了、取消失敗、訂正中、一部訂正完了、全部訂正完了、 訂正失敗、切替中、一部切替完了、全部切替完了、切替失敗	
43	子注文の約定数量	子注文の約定数量を表示する	
44	子注文の平均約定単価	子注文の平均約定単価を表示する	
45	子注文の概算代金	No.25参照	
46	子注文の注文日時	子注文の注文日時を表示する	
47	子注文の注文期限区分	当日限り、または注文期限項目に日付が設定される	
48	子注文の注文期限	注文期限区分が「当日限り」ではない場合、注文期限日を表示する	
49	訂正可能フラグ	TRUE、FALSE	
50	取消可能フラグ	TRUE、FALSE	
51	総ページ数	取得した一覧情報の総ページ数を表示する	
52	総しコード数	取得した一覧の総しコード数を表示する	
53	表示ページ番号	現在表示している表示ページ番号	

W10 国内株式 信用注文訂正・取消可能注文一覧

SNT.MrgnEnableOrderList

文字列型 仕分け
「」 ダブルクォーテーション処理

文字列①： 必要
文字列②： 状況により
文字列③： どちらでも
文字列④： 不必要

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)信用取引の訂正/取消可能な注文を50行取得する(銘柄コード、約定状態、表示する項目は全取得)
=SNT.MrgnEnableOrderList(TRUE,,50,,)

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	ヘッダ行表示	TRUE: ヘッダ行を表示する、FALSE: ヘッダ行を表示しない		必須	真偽値
2	銘柄コード	「銘柄コード,市場」の式で入力	T または t: 東証(,市場の省略時はT: 東証とする) 省略時は全銘柄指定とする	任意	文字列②
3	表示する行数	入力された件数を表示する	省略時は500件取得する (※500件は一度で取得できる最大値)	任意	数値
4	表示するページ番号	表示するページ番号を指定する	500件を1ページ最大数とし、それ以上のレコードを取得する場合に使用 省略時は1ページ目とする。また、存在しないページを指定した場合、1ページ目が返却される	任意	数値
5	表示する項目	戻り値の項目名を指定する、複数の場合は「@」区切りとする	省略した場合は全て指定された扱いになる 入力形式は「」表示する項目」とする。複数例) "注文ID@銘柄コード@売買"	任意	文字列①
6	ソート順	:asc 昇順 :desc 降順	省略した場合は銘柄コード昇順となる ソート対象項目:銘柄コード、口座区分、売買、注文日時、注文期限 例) "売買:asc" 複数条件を加える場合は「@」区切り 例) "売買:asc@注文日時:desc"	任意	文字列①

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	注 記
1	注文ID	全チャネル間で注文を一意に識別するための番号	
2	市場	東証、名証、福証、札証	
3	銘柄コード	銘柄コードを表示する	
4	銘柄名称	銘柄名称を表示する	
5	口座区分	一般、特定	
6	取引区分	新規買、新規売、返済買、返済売、現引、現渡	
7	信用区分	制度信用(6ヶ月)、一般信用(無期限)	
8	注文区分	通常、逆指値S、OCO、IFD、IFDO、逆指値M	
9	執行条件	指定なし、寄付、引け、不成、IOC、大引け、大引け不成	
10	注文数量	注文数量を表示する	
11	注文単価区分	成行、指値	
12	注文単価	注文単価を表示する	
13	逆指値トリガー状況	トリガー前、トリガー済	
14	逆指値条件単価	逆指値条件単価を表示する	
15	逆指値注文単価区分	成行、指値	
16	逆指値注文単価	逆指値注文単価を表示する	
17	受付状態	受付中、受付済、受付エラー、発注待ち	
18	約定状態	未約定、一部約定、全部約定	
19	失効状態	失効なし、一部失効、失効	
20	訂正取消状態	訂正取消なし、取消中、一部取消完了、全部取消完了、取消失敗、訂正中、一部訂正完了、全部訂正完了、 訂正失敗、切替中、一部切替完了、全部切替完了、切替失敗	
21	約定数量	約定数量を表示する	
22	未約定数量	注文数量から約定数量を差し引いた値	
23	約定代金	「分割約定一覧」の注文毎の情報から約定数量と約定単価を乗じたものを合算した値	
24	平均約定単価	平均約定単価を表示する	
25	概算受渡代金	概算建代金、概算決済損益代金、概算受渡代金を表示する 新規買建時: 建計算式は「約定代金 + (未約定株数 × 注文単価(成行の場合は値幅上限)) + 手数料」 新規売建時: 建計算式は「約定代金 + (未約定株数 × 注文単価(指値の場合は指値と現在値の高い方、成行の場合は値幅上限)) + 手数料」 返済売時: 決済損益代金は「約定代金 + (未約定株数 × 注文単価) - 建代金 - 前日までの金利諸経費 - 手数料」 返済買時: 決済損益代金は「建代金 - 約定代金 - (未約定株数 × 注文単価) - 前日までの金利諸経費 - 手数料」 現引時: 受渡代金の計算式は「建代金 × -1」 現渡時: 受渡代金の計算式は「建代金」	※注文単価は注文執行条件によって計算方法が異なる ※諸経費の中には金利だけではなく名義書換料や管理費等が含まれる場合もある ※消費税も計算に含まれる ※現引/現渡時の概算受渡代金については、貸株料や日歩などの諸経費が引かれる
26	注文日時	注文日時を表示する	
27	注文期限区分	当日限り、または注文期限項目に日付が設定される	
28	注文期限	注文期限区分が「当日限り」ではない場合、注文期限日を表示する	
29	子注文の注文単価	子注文の注文単価を表示する	
30	子注文の注文値幅	子注文の注文値幅を表示する	
31	子注文の執行条件	指定なし、寄付、引け、不成	
32	子注文の逆指値条件単価	子注文の逆指値条件単価を表示する	
33	子注文の逆指値条件値幅	子注文の逆指値条件値幅を表示する	
34	子注文の逆指値注文単価区分	成行、指値	
35	子注文の逆指値注文単価	子注文の逆指値注文単価を表示する	
36	訂正可能フラグ	TRUE、FALSE	
37	取消可能フラグ	TRUE、FALSE	
38	総ページ数	取得した一覧情報の総ページ数を表示する	
39	総レコード数	取得した一覧の総レコード数を表示する	
40	表示ページ番号	現在表示している表示ページ番号	

W11

国内株式 信用残高照会

SNT.MrgnPositionList

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)特定口座で保有している制度信用の買建玉を50行取得する(建玉は集約せず、表示する項目は全取得)
=SNT.MrgnPositionList(TRUE,,1,1,1,FALSE,50,,)

文字列型 仕分け
「」 ダブルクォーテーション処理

文字列①: 必要
文字列②: 状況により
文字列③: どちらでも

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	ヘッダ行表示	TRUE: ヘッダ行を表示する、FALSE: ヘッダ行を表示しない		必須	真偽値
2	銘柄コード	「銘柄コード,市場」の式で入力	T または t: 東証(,市場の省略時はT: 東証とする) 省略時は全銘柄指定とする	任意	文字列②
3	口座区分	0: 一般、1: 特定	省略時は一般、特定どちらも取得する	任意	文字列④
4	建区分	1: 買建、2: 売建	省略時は買建、売建どちらも取得する	任意	文字列④
5	信用区分	1: 制度信用(6ヶ月)、2: 一般信用(無期限)	省略時は制度信用、一般信用どちらも取得する	任意	文字列④
6	建玉集約フラグ	TRUE: 建玉を集約させる、FALSE: 建玉を集約させない	市場、銘柄コード、口座区分、建区分、信用区分、決済状態区分で集約 省略時は「FALSE:建玉を集約させない」	任意	真偽値
7	表示する行数	入力された件数を表示する	省略時は500件取得する (※500件は一度で取得できる最大値)	任意	数値
8	表示するページ番号	表示するページ番号を指定する	500件を1ページ最大数とし、それ以上のレコードを取得する場合に使用 省略時は1ページ目とする。また、存在しないページを指定した場合、1ページ目が返却される	任意	数値
9	表示する項目	戻り値の項目名を指定する、複数の場合は「@」区切りとする	省略した場合は全て指定された扱いになる 入力形式は「表示する項目」とする。複数例) "建玉ID@銘柄コード@売買"	任意	文字列①
10	ソート順	:asc 昇順 :desc 降順	省略した場合は銘柄コード昇順となる ソート対象項目:銘柄コード、口座区分 例) "口座区分:asc" 複数条件を加える場合は「@」区切り	任意	文字列①

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	注 記
1	建玉ID	全チャネル間で建玉を一意に識別するための番号	集約の場合は一つのセルに「@」区切りで複数表示
2	市場	東証、名証、福証、札証	
3	銘柄コード	銘柄コードを表示する	
4	銘柄名称	銘柄名称を表示する	
5	口座区分	一般、特定	
6	建区分	買建、売建	
7	信用区分	制度信用(6ヶ月)、一般信用(無期限)	
8	建日	建日を表示する	集約の場合で建日が異なる場合「複数建玉あり」と表示
9	建数量	建数量を表示する	集約の場合は一つのセルに「@」区切りで複数表示
10	建数量合計	建玉を集約する場合の建数量合計	集約させない場合は建数量と同じ値を表示
11	建単価	建単価を表示する	集約の場合は平均建単価とする
12	期日	信用取引の返済期日を表示する	集約の場合で建日が異なる場合「複数建玉あり」と表示
13	建代金	建代金を表示する	集約の場合は合計とする
14	建手数料	建手数料を表示する	集約の場合は合計とする
15	順日歩	順日歩を表示する	集約の場合は合計とする
16	逆日歩	逆日歩を表示する	集約の場合は合計とする
17	書換料	名義書換料を表示する	集約の場合は合計とする
18	管理費	事務管理費を表示する	集約の場合は合計とする
19	貸株料	貸株料を表示する	集約の場合は合計とする
20	その他諸経費	その他諸経費を表示する	集約の場合は合計とする
21	決済状態区分	未決済、決済中	
22	返済可能フラグ	TRUE、FALSE	集約の場合はすべてTRUEの場合のみTRUE、それ以外はFALSE
23	現引現渡可能フラグ	TRUE、FALSE	集約の場合はすべてTRUEの場合のみTRUE、それ以外はFALSE
24	総ページ数	取得した一覧情報の総ページ数を表示する	
25	総レコード数	取得した一覧の総レコード数を表示する	
26	表示ページ番号	現在表示している表示ページ番号	

W12

国内株式 取引余力

SNT.TradingPower

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)新規建可能額を取得する
=SNT.TradingPower("新規建可能額")

文字列型 仕分け
「」 ダブルクォーテーション処理

文字列①: 必要
文字列②: 状況により

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	表示する項目	戻り値の項目名を指定する	入力形式は「表示する項目」とする。	必須	文字列①

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	注 記
1	買付可能額	買付可能額を表示する	「現物株式受渡日」以降の最小となる値を使用する
2	信用新規建可能額	信用新規建可能額を表示する	「信用新規建基準日」以降の最小となる値を使用する
3	保証金預託率	信用新規建可能額として採用した日の保証金預託率を表示する。 信用新規建可能額の最小値が複数存在していた場合、最初の日付(直近の日付)から保証金預託率の値を表示する。	パーセント形式の値

W13

国内株式 注文有効期限

SNT.ExpDateList

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)注文時に設定可能な有効期限を取得する
=SNT.ExpDateList(TRUE)

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	ヘッダ行表示	TRUE: ヘッダ行を表示する、FALSE: ヘッダ行を表示しない		必須	真偽値

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	注 記
1	注文有効期限	注文時に設定可能な有効期限日	

文字列型 仕分け
「」 ダブルクォーテーション処理

文字列① : 必要
文字列② : 状況により
文字列③ : どちらでも
文字列④ : 不必要

W14

国内株式 銘柄マスタ

SNT.StockInstMaster

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)銘柄コード(9999)の銘柄情報を全項目取得する
=SNT.StockInstMaster(TRUE,9999)

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	ヘッダ行表示	TRUE: ヘッダ行を表示する、FALSE: ヘッダ行を表示しない		必須	真偽値
2	銘柄コード	「銘柄コード,市場」の式で入力 T または ㏍ 東証(市場の省略時はT: 東証とする) 省略時は全銘柄指定とする		任意	文字列②
3	表示する項目	戻り値の項目名を指定する、複数の場合は「@」区切りとする 省略した場合は全て指定された扱いになる 入力形式は「」表示する項目」とする。複数例) "注文ID@銘柄コード@売買"		任意	文字列①

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	注 記
1	市場	東証	
2	銘柄コード	銘柄コードを表示する	
3	銘柄名称	銘柄名称を表示する	
4	上場部	上場部を表示する	
5	現値	現値を表示する	
6	現値日時	現値日時を表示する	
7	始値	始値を表示する	
8	始値時刻	始値時刻を表示する	
9	高値	高値を表示する	
10	高値時刻	高値時刻を表示する	
11	安値	安値を表示する	
12	安値時刻	安値時刻を表示する	
13	前日終値	前日終値を表示する	
14	前日終値日時	前日終値日時を表示する	
15	調整後前日終値	CA等で調整が行われた前日終値を表示する	
16	売買高	売買高を表示する	
17	売買代金	売買代金を表示する	
18	VWAP	VWAPを表示する	
19	Tick回数	Tick回数を表示する	
20	TickUp回数	TickUp回数を表示する	
21	TickDown回数	TickDown回数を表示する	

文字列型 仕分け
「」 ダブルクォーテーション処理

文字列① : 必要
文字列② : 状況により
文字列③ : どちらでも
文字列④ : 不必要

W15

国内株式 銘柄情報

SNT.StockInst

簡易ダイアログ

自動更新

文字列型 仕分け
「」ダブルクォーテーション処理

文字列①： 必要
文字列②： 状況により
文字列③： どちらでも

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)銘柄コード(9999)の現値を取得する
=SNT.StockInst(9999,"現値")

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	銘柄コード	「銘柄コード,市場」の式で入力	T または t: 東証(.市場の省略時はT: 東証とする) 省略時は全銘柄指定とする	必須	文字列②
2	表示する項目	戻り値の項目名を指定する	一つのセルに一つの項目を指定する。 入力形式は「表示する項目」とする。	必須	文字列①

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	注 記
1	市場	東証	
2	銘柄コード	銘柄コードを表示する	
3	銘柄名称	銘柄名称を表示する	
4	上場部	上場部を表示する	
5	現値	現値を表示する	
6	現値日時	現値日時を表示する	
7	始値	始値を表示する	
8	始値時刻	始値時刻を表示する	
9	高値	高値を表示する	
10	高値時刻	高値時刻を表示する	
11	安値	安値を表示する	
12	安値時刻	安値時刻を表示する	
13	前日終値	前日終値を表示する	
14	前日終値日時	前日終値日時を表示する	
15	売買高	売買高を表示する	
16	売買代金	売買代金を表示する	
17	売成行数量	売成行数量を表示する	
18	売気配価格 1本目	売気配価格(1本目)を表示する	
19	売気配数量 1本目	売気配数量(1本目)を表示する	
20	売気配価格 2本目	売気配価格(2本目)を表示する	
21	売気配数量 2本目	売気配数量(2本目)を表示する	
22	売気配価格 3本目	売気配価格(3本目)を表示する	
23	売気配数量 3本目	売気配数量(3本目)を表示する	
24	売気配価格 4本目	売気配価格(4本目)を表示する	
25	売気配数量 4本目	売気配数量(4本目)を表示する	
26	売気配価格 5本目	売気配価格(5本目)を表示する	
27	売気配数量 5本目	売気配数量(5本目)を表示する	
28	売気配価格 6本目	売気配価格(6本目)を表示する	
29	売気配数量 6本目	売気配数量(6本目)を表示する	
30	売気配価格 7本目	売気配価格(7本目)を表示する	
31	売気配数量 7本目	売気配数量(7本目)を表示する	
32	売気配価格 8本目	売気配価格(8本目)を表示する	
33	売気配数量 8本目	売気配数量(8本目)を表示する	
34	売気配価格 9本目	売気配価格(9本目)を表示する	
35	売気配数量 9本目	売気配数量(9本目)を表示する	
36	売気配価格 10本目	売気配価格(10本目)を表示する	
37	売気配数量 10本目	売気配数量(10本目)を表示する	
38	売気配数量 11本目以上合計	売気配数量(11本目以上の合計)を表示する	
39	売気配フラグ	∴ 一般気配、特: 特別気配 or 停止前特別気配、注: 注意気配、前: 寄前気配、引: 引け後気配 連: 連続約定気配 or 停止前連続約定気配、W: 一般気配(売上がり中)、空文字: 事象なし	
40	買成行数量	買成行数量を表示する	
41	買気配価格 1本目	買気配価格(1本目)を表示する	
42	買気配数量 1本目	買気配数量(1本目)を表示する	
43	買気配価格 2本目	買気配価格(2本目)を表示する	
44	買気配数量 2本目	買気配数量(2本目)を表示する	
45	買気配価格 3本目	買気配価格(3本目)を表示する	
46	買気配数量 3本目	買気配数量(3本目)を表示する	
47	買気配価格 4本目	買気配価格(4本目)を表示する	
48	買気配数量 4本目	買気配数量(4本目)を表示する	
49	買気配価格 5本目	買気配価格(5本目)を表示する	
50	買気配数量 5本目	買気配数量(5本目)を表示する	
51	買気配価格 6本目	買気配価格(6本目)を表示する	
52	買気配数量 6本目	買気配数量(6本目)を表示する	
53	買気配価格 7本目	買気配価格(7本目)を表示する	
54	買気配数量 7本目	買気配数量(7本目)を表示する	
55	買気配価格 8本目	買気配価格(8本目)を表示する	
56	買気配数量 8本目	買気配数量(8本目)を表示する	
57	買気配価格 9本目	買気配価格(9本目)を表示する	
58	買気配数量 9本目	買気配数量(9本目)を表示する	
59	買気配価格 10本目	買気配価格(10本目)を表示する	
	買気配数量 10本目	買気配数量(10本目)を表示する	
61	買気配数量 11本目以上合計	買気配数量(11本目以上の合計)を表示する	
62	買気配フラグ	∴ 一般気配、特: 特別気配 or 停止前特別気配、注: 注意気配、前: 寄前気配、引: 引け後気配 連: 連続約定気配 or 停止前連続約定気配、W: 一般気配(買上がり中)、空文字: 事象なし	
63	VWAP	VWAPを表示する	
64	Tick回数	Tick回数を表示する	
65	TickUp回数	TickUp回数を表示する	
66	TickDown回数	TickDown回数を表示する	

W16 国内株式 銘柄詳細情報

SNT.StockInstDetail

文字列型 仕分け
「」ダブルクォーテーション処理

文字列①： 必要
文字列②： 状況により
文字列③： どちらでも

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)銘柄コード(9999)の騰落率を取得する
=SNT.StockInstDetail(9999,"騰落率")

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	銘柄コード	「銘柄コード.市場」の式で入力	T または t: 東証(、市場の省略時はT: 東証とする) 省略時は全銘柄指定とする	必須	文字列②
2	表示する項目	戻り値の項目名を指定する	一つのセルに一つの項目を指定する。 入力形式は「表示する項目」とする。	必須	文字列①

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	No	項目名	表示内容
1	市場	東証	71	最低投資額	現値×売買単位で算出する
2	銘柄コード	銘柄コードを表示する	72	値幅上限値	値幅上限値を表示する
3	銘柄名称	銘柄名称を表示する	73	値幅下限値	値幅下限値を表示する
4	銘柄正式名称	銘柄正式名称を表示する	74	決算期	決算期を表示する
5	上場部	上場部を表示する	75	決算発表予定日	決算発表予定日を表示する
6	現値	現値を表示する	76	株主総会	株主総会を表示する
7	現値ステータス	売却: 売買停止板寄: 板寄中断: 売買中断空白文字: 上記以外	77	中配落日	中配落日を表示する
8	現値日時	現値日時を表示する	78	配当落日	配当落日を表示する
9	始値	始値を表示する	79	株主優待の権利付き最終日	株主優待の権利付き最終日を表示する
10	始値時刻	始値時刻を表示する	80	時価総額	時価総額を表示する
11	高値	高値を表示する	81	上場来高値	上場来高値を表示する
12	高値時刻	高値時刻を表示する	82	上場来高値日付	上場来高値の日付を表示する
13	安値	安値を表示する	83	上場来安値	上場来安値を表示する
14	安値時刻	安値時刻を表示する	84	上場来安値日付	上場来安値の日付を表示する
15	前日比	前日比を表示する	85	年初来高値	年初来高値を表示する
16	騰落率	騰落率を表示する	86	年初来高値日付	年初来高値の日付を表示する
17	前日終値	前日終値を表示する	87	年初来安値	年初来安値を表示する
18	前日終値日時	前日終値日時を表示する	88	年初来安値日付	年初来安値の日付を表示する
19	売買高	売買高を表示する	89	単体本決算実績の決算期	単体本決算実績の決算期を表示する
20	売買代金	売買代金を表示する	90	単体本決算実績の売上高	単体本決算実績の売上高を表示する
21	売成行数量	売成行数量を表示する	91	単体本決算実績の経常利益	単体本決算実績の経常利益を表示する
22	売気配価格 1本目	売気配価格(1本目)を表示する	92	単体本決算実績の経常 伸び率	単体本決算実績の経常 伸び率を表示する
23	売気配数量 1本目	売気配数量(1本目)を表示する	93	単体本決算実績の純利益	単体本決算実績の純利益を表示する
24	売気配価格 2本目	売気配価格(2本目)を表示する	94	連結本決算実績の決算期	連結本決算実績の決算期を表示する
25	売気配数量 2本目	売気配数量(2本目)を表示する	95	連結本決算実績の売上高	連結本決算実績の売上高を表示する
26	売気配価格 3本目	売気配価格(3本目)を表示する	96	連結本決算実績の経常利益	連結本決算実績の経常利益を表示する
27	売気配数量 3本目	売気配数量(3本目)を表示する	97	連結本決算実績の純利益	連結本決算実績の純利益を表示する
28	売気配価格 4本目	売気配価格(4本目)を表示する	98	PER	連結がある場合は連結のPER、単体の場合は単体PERを表示する
29	売気配数量 4本目	売気配数量(4本目)を表示する	99	PBR	連結がある場合は連結のPBR、単体の場合は単体PBRを表示する
30	売気配価格 5本目	売気配価格(5本目)を表示する	100	ROE	連結がある場合は連結のROE、単体の場合は単体ROEを表示する
31	売気配数量 5本目	売気配数量(5本目)を表示する	101	益回り	連結がある場合は連結の益回り、単体の場合は単体益回りを表示する
32	売気配価格 6本目	売気配価格(6本目)を表示する	102	利回り	利回りを表示する
33	売気配数量 6本目	売気配数量(6本目)を表示する	103	証金残日付	証金残高の日付を表示する
34	売気配価格 7本目	売気配価格(7本目)を表示する	104	証金残高(新規・貸株)	証金残高(新規・貸株)を表示する
35	売気配数量 7本目	売気配数量(7本目)を表示する	105	証金残高(新規・融資)	証金残高(新規・融資)を表示する
36	売気配価格 8本目	売気配価格(8本目)を表示する	106	証金残高(新規・差引)	証金残高(新規・差引)を表示する
37	売気配数量 8本目	売気配数量(8本目)を表示する	107	証金残高(返済・貸株)	証金残高(返済・貸株)を表示する
38	売気配価格 9本目	売気配価格(9本目)を表示する	108	証金残高(返済・融資)	証金残高(返済・融資)を表示する
39	売気配数量 9本目	売気配数量(9本目)を表示する	109	証金残高(返済・差引)	証金残高(返済・差引)を表示する
40	売気配価格 10本目	売気配価格(10本目)を表示する	110	証金残高(残・貸株)	証金残高(残・貸株)を表示する
41	売気配数量 10本目	売気配数量(10本目)を表示する	111	証金残高(残・融資)	証金残高(残・融資)を表示する
42	売気配数量 11本目以上合計	売気配数量(11本目以上の合計)を表示する	112	証金残高(残・差引)	証金残高(残・差引)を表示する
43	売気配フラグ	・: 一般気配、特: 特別気配 or 停止前特別気配 注: 注意気配、前: 寄前気配、引: 引け後気配 連: 連続約定気配 or 停止前連続約定気配、W: 一般気配(売下がり中) 空白文字: 事象なし	113	証金残の前日比 貸株	証金残高(貸株)の前日比を表示する
44	買成行数量	買成行数量を表示する	114	証金残の前日比 融資	証金残高(融資)の前日比を表示する
45	買気配価格 1本目	買気配価格(1本目)を表示する	115	証金残の前日比 差引	証金残高(差引)の前日比を表示する
46	買気配数量 1本目	買気配数量(1本目)を表示する	116	逆日歩	逆日歩を表示する
47	買気配価格 2本目	買気配価格(2本目)を表示する	117	日歩日数	品質日数を表示する
48	買気配数量 2本目	買気配数量(2本目)を表示する	118	回転日数	証金残高の回転日数を表示する
49	買気配価格 3本目	買気配価格(3本目)を表示する	119	貸借倍率	証金残高の貸借倍率を表示する
50	買気配数量 3本目	買気配数量(3本目)を表示する	120	信用残日付	信用取引残高の日付を表示する
51	買気配価格 4本目	買気配価格(4本目)を表示する	121	合計売残	信用取引残高の合計売残を表示する
52	買気配数量 4本目	買気配数量(4本目)を表示する	122	制度売残	信用取引残高の制度売残を表示する
53	買気配価格 5本目	買気配価格(5本目)を表示する	123	一般売残	信用取引残高の一般売残を表示する
54	買気配数量 5本目	買気配数量(5本目)を表示する	124	合計買残	信用取引残高の合計買残を表示する
55	買気配価格 6本目	買気配価格(6本目)を表示する	125	制度買残	信用取引残高の制度買残を表示する
56	買気配数量 6本目	買気配数量(6本目)を表示する	126	一般買残	信用取引残高の一般買残を表示する
57	買気配価格 7本目	買気配価格(7本目)を表示する	127	合計売残前週比	信用取引残高の合計売残、前週比を表示する
58	買気配数量 7本目	買気配数量(7本目)を表示する	128	合計買残前週比	信用取引残高の合計買残、前週比を表示する
59	買気配価格 8本目	買気配価格(8本目)を表示する	129	制度売残前週比	信用取引残高の制度売残、前週比を表示する
60	買気配数量 8本目	買気配数量(8本目)を表示する	130	制度買残前週比	信用取引残高の制度買残、前週比を表示する
61	買気配価格 9本目	買気配価格(9本目)を表示する	131	一般売残前週比	信用取引残高の一般売残、前週比を表示する
62	買気配数量 9本目	買気配数量(9本目)を表示する	132	一般買残前週比	信用取引残高の一般買残、前週比を表示する
63	買気配価格 10本目	買気配価格(10本目)を表示する	133	合計倍率	信用取引残高の合計倍率を表示する
64	買気配数量 10本目	買気配数量(10本目)を表示する	134	制度倍率	信用取引残高の制度倍率を表示する
65	買気配数量 11本目以上合計	買気配数量(11本目以上の合計)を表示する	135	一般倍率	信用取引残高の一般倍率を表示する
66	買気配フラグ	・: 一般気配、特: 特別気配 or 停止前特別気配 注: 注意気配、前: 寄前気配、引: 引け後気配 連: 連続約定気配 or 停止前連続約定気配、W: 一般気配(売下がり中) 空白文字: 事象なし	136	売買単位	売買単位を表示する
67	VWAP	VWAPを表示する	137	業種	業種を表示する
68	Tick回数	Tick回数を表示する	138	発行済株式数	発行済株式数を表示する
69	TickUp回数	TickUp回数を表示する			
70	TickDown回数	TickDown回数を表示する			

W17 国内株式 銘柄規制情報

SNT.StockInstReg

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)銘柄コード(9999)の規制情報を取得する
=SNT.StockInstReg(TRUE,9999)

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	ヘッダ行表示	TRUE: ヘッダ行を表示する、FALSE: ヘッダ行を表示しない		必須	真偽値
2	銘柄コード	「銘柄コード,市場」の式で入力	T または t: 東証(,市場の省略時はT: 東証とする)	必須	文字列②

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	注 記
1	規制情報	返却された規制メッセージ	

文字列型 仕分け
「」 ダブルクォーテーション処理

文字列①: 必要
文字列②: 状況により
文字列③: どちらでも
文字列④: 不必要

W18 国内株式ヒストリカルデータ

SNT.StockHist

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)銘柄コード(9999)の1m足ヒストリカルデータを720本取得する(表示する項目は全取得)
=SNT.StockHist(TRUE,9999,"1m",720,)

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	ヘッダ行表示	TRUE: ヘッダ行を表示する、FALSE: ヘッダ行を表示しない		必須	真偽値
2	銘柄コード	「銘柄コード,市場」の式で入力	T または t: 東証(,市場の省略時はT: 東証とする) 省略時は全銘柄指定とする	必須	文字列②
3	足種別	1m: 1分足、 3m: 3分足、 5m: 5分足、 10m: 10分足、 15m: 15分足、 30m: 30分足、 60m: 60分足、 1D: 日足、 1W: 週足、 1M: 月足、 Tick: ティック	入力形式は「足種別」とする。	必須	文字列①
4	取得本数	取得する本数を設定	省略時は最大件数取得する 1m: 1510本、3m: 510本、5m: 682本、10m: 352本、15m: 352本、30m: 492本、 60m: 246本、1D: 960本、1W: 472本、1M: 118本、Tick: 2000本	任意	数値
5	表示する項目	戻り値の項目名を指定する、複数の場合は「@」区切りとする	省略した場合は全て指定された扱いになる 入力形式は「表示する項目」とする。複数例) "注文ID@銘柄コード@売買"	任意	文字列①

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	注 記
1	日時	日時を表示する	
2	始値	始値を表示する	
3	高値	高値を表示する	
4	安値	安値を表示する	
5	終値	終値を表示する	
6	出来高	出来高を表示する	
7	仮想足フラグ	仮想足フラグ(該当時間に足データが存在しない場合にTRUE)を表示する	

文字列型 仕分け
「」 ダブルクォーテーション処理

文字列①: 必要
文字列②: 状況により
文字列③: どちらでも
文字列④: 不必要

国内株式 ランキング

簡易ダイアログ

例)東証全体値上がり率を50位まで取得する(表示する項目は全取得)
=SNT.StockRanking(TRUE,102,50,)

最大50件(東証業種別指数は33件)まで表示する。
省略時は50件(東証業種別指数は33件)取得する。
VBAでは省略または0件指定で最大件数取得する。

[illegible][illegible]

W20 指数銘柄情報

SNT.IndexInst

簡易ダイアログ

自動更新

文字列型 仕分け
「I」ダブルクォーテーション処理

文字列①： 必要
文字列②： 状況により
文字列③： どちらでも
文字列④： 不必要

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例) 日経平均株価(101)の現値を取得する
=SNT.IndexInst(101,"現値")

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	指数コード	101: 日経平均、 105: JPX日経400、 151: TOPIX、 154: 東証G250指数、 155: 東証REIT指数 156: 大型、 157: 中型、 158: 小型、 178: 東証G Core、 179: 東証S Top20、		必須	文字列③
2	表示する項目	戻り値の項目名を指定する	一つのセルに一つの項目を指定する。 入力形式は「表示する項目」とする。	必須	文字列①

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	注 記
1	指数コード	指数コードを表示する	
2	銘柄名称	銘柄名称を表示する	
3	現値	現値を表示する	
4	現値日時	現値日時を表示する	
5	始値	始値を表示する	
6	始値時刻	始値時刻を表示する	
7	高値	高値を表示する	
8	高値時刻	高値時刻を表示する	
9	安値	安値を表示する	
10	安値時刻	安値時刻を表示する	
11	前日比	前日比を表示する	
12	騰落率	騰落率を表示する	
13	前日終値	前日終値を表示する	
14	前日終値日時	前日終値日時を表示する	
15	年初来高値	年初来高値を表示する	
16	年初来高値日付	年初来高値日付を表示する	
17	年初来安値	年初来安値を表示する	
18	年初来安値日付	年初来安値日付を表示する	

W21 指数ヒストリカルデータ

SNT.IndexHist

文字列型 仕分け
「I」ダブルクォーテーション処理

文字列①： 必要
文字列②： 状況により
文字列③： どちらでも
文字列④： 不必要

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例) 日経平均株価(101)の1m足ヒストリカルデータを720本取得する(表示する項目は全取得)
=SNT.IndexHist(TRUE,101,"1m",720,)

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	ヘッダ行表示	TRUE: ヘッダ行を表示する、 FALSE: ヘッダ行を表示しない		必須	真偽値
2	指数コード	101: 日経平均、 105: JPX日経400、 151: TOPIX、 154: 東証G250指数、 155: 東証REIT指数 156: 大型、 157: 中型、 158: 小型、 178: 東証G Core、 179: 東証S Top20、		必須	文字列③
3	足種別	1m: 1分足、 3m: 3分足、 5m: 5分足、 10m: 10分足、 15m: 15分足、 30m: 30分足、 60m: 60分足、 1D: 日足、 1W: 週足、 1M: 月足、 Tick: ティック	入力形式は「足種別」とする。	必須	文字列①
4	取得本数	取得する本数を設定	省略時は最大件数取得する 1m: 1510本、 3m: 510本、 5m: 682本、 10m: 352本、 15m: 352本、 30m: 492本、 60m: 246本、 1D: 960本、 1W: 472本、 1M: 118本、 Tick: 2000本	任意	数値
5	表示する項目	戻り値の項目名を指定する、複数の場合は「@」区切りとする	省略した場合は全て指定された扱いになる 入力形式は「表示する項目」とする。複数例) "日時@終値@高値"	任意	文字列①

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	注 記
1	日時	日時を表示する	
2	始値	始値を表示する	
3	高値	高値を表示する	
4	安値	安値を表示する	
5	終値	終値を表示する	
6	仮想足フラグ	仮想足フラグ(該当時間に足データが存在しない場合にTRUE)を表示する	

W22 為替銘柄情報

SNT.ForexInst

簡易ダイアログ

自動更新

文字列型 仕分け
「」ダブルクォーテーション処理

文字列①： 必要
文字列②： 状況により
文字列③： どちらでも
文字列④： 不必要

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)USDドル/円の買気配を取得する
=SNT.ForexInst("USD/JPY","買気配 Bid")

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	通貨ペア	USD/JPY: USDドル/円、EUR/JPY: ユーロ/円、AUD/JPY: オーストラリアドル/円、GBP/JPY: イギリスポンド/円、CAD/JPY: カナダドル/円、NZD/JPY: ニュージーランドドル/円、ZAR/JPY: 南アフリカランド/円、TRY/JPY: トルコリラ/円、BRL/JPY: ブラジルレアル/円、CHF/JPY: スイスフラン/円、CNY/JPY: 中国元/円、KRW/JPY: 韓国ウォン/円	対円レートを12通貨指定可能 入力形式は「"通貨ペア"」とする。	必須	文字列①
3	表示する項目	戻り値の項目名を指定する	一つのセルに一つの項目を指定する。 入力形式は「"表示する項目"」とする。	必須	文字列①

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	注 記
1	通貨ペア	通貨ペアを表示する	
2	買気配 Bid	買気配を表示する	
3	買気配日時 Bid	買気配日時を表示する	
4	売気配 Ask	売気配を表示する	
5	売気配日時 Ask	売気配日時を表示する	
6	始値	始値を表示する	
7	始値時刻	始値時刻を表示する	
8	高値	高値を表示する	
9	高値時刻	高値時刻を表示する	
10	安値	安値を表示する	
11	安値時刻	安値時刻を表示する	

W23 為替ヒストリカルデータ

SNT.ForexHist

文字列型 仕分け
「」ダブルクォーテーション処理

文字列①： 必要
文字列②： 状況により
文字列③： どちらでも
文字列④： 不必要

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)USDドル/円の1m足ヒストリカルデータを720本取得する(表示する項目は全取得)
=SNT.ForexHist(TRUE,"USD/JPY","1m",720,)

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	ヘッダ行表示	TRUE: ヘッダ行を表示する、FALSE: ヘッダ行を表示しない		必須	真偽値
2	通貨ペア	USD/JPY: USDドル/円、EUR/JPY: ユーロ/円、AUD/JPY: オーストラリアドル/円、GBP/JPY: イギリスポンド/円、CAD/JPY: カナダドル/円、NZD/JPY: ニュージーランドドル/円、ZAR/JPY: 南アフリカランド/円、TRY/JPY: トルコリラ/円、BRL/JPY: ブラジルレアル/円、CHF/JPY: スイスフラン/円、CNY/JPY: 中国元/円、KRW/JPY: 韓国ウォン/円	入力形式は「"通貨ペア"」とする。	必須	文字列①
3	足種別	1m: 1分足、3m: 3分足、5m: 5分足、10m: 10分足、15m: 15分足、30m: 30分足、60m: 60分足、1D: 日足、1W: 週足、1M: 月足、Tick: ティック	入力形式は「"足種別"」とする。	必須	文字列①
4	取得本数	取得する本数を設定	省略時は最大件数取得する 1m: 1440本、3m: 960本、5m: 864本、10m: 720本、15m: 480本、30m: 480本、60m: 240本、1D: 960本、1W: 472本、1M: 118本、Tick: 2000本	任意	数値
5	表示する項目	戻り値の項目名を指定する、複数の場合は「@」区切りとする	省略した場合は全て指定された扱いになる 入力形式は「"表示する項目"」とする。複数例) "日時@終値@高値"	任意	文字列①

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	注 記
1	日時	日時を表示する	
2	始値	始値を表示する	
3	高値	高値を表示する	
4	安値	安値を表示する	
5	終値	終値を表示する	
6	仮想足フラグ	仮想足フラグ(該当時間に足データが存在しない場合にTRUE)を表示する	

W24 ネオトレAPI注文管理ID一覧

SNT.OrderIdList

文字列型 仕分け
「」ダブルクォーテーション処理

文字列①： 必要
文字列②： 状況により
文字列③： どちらでも
文字列④： 不必要

【引数】 ネオトレAPI関数を記入したセルで、関数が計算するための条件をデータとして入力します。

例)発注している注文の注文日時と注文IDを取得する
=SNT.OrderIdList(TRUE,"注文日時@注文ID")

No	項目名	入力説明	注 記	入力	データ型
1	ヘッダ行表示	TRUE: ヘッダ行を表示する、FALSE: ヘッダ行を表示しない		必須	真偽値
2	表示する項目	戻り値の項目名を指定する、複数の場合は「@」区切りとする	省略した場合は全て指定された扱いになる 入力形式は「表示する項目」とする。複数例) "ネオトレAPI注文管理ID@注文ID@注文結果"	任意	文字列①

【戻り値】 ネオトレAPI関数を記入したセルの一行下に戻り値の情報が展開されます。

No	項目名	表示内容	注 記
1	ネオトレAPI注文管理ID	Excel起動中の注文管理用ID	
2	注文内容	国内株式 現物注文、国内株式 信用新規注文、国内株式 信用返済注文、国内株式 訂正注文、国内株式 取消注文	
3	注文日時	注文日時を表示する	
4	注文ID	全チャネル間で注文を一意に識別するための番号	証券基幹システムで注文を受け付けた場合のみ
5	注文結果	注文済み、もしくは証券基幹システムからのエラー内容	